

3 事業報告書

事業報告書 平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係

(引 受)

水 稲 (29年産)

(一筆方式)

項目 組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	異常責任 保有保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
	戸	a	kg	円	円	円	円	円	円	円
島根県東部	5,589	426,102	14,566,569	2,615,025,128	2,583,897,493	7,781,908		0		
出雲広域	8,830	763,460	26,672,318	4,939,975,375	4,876,882,981	15,773,097		0		
石見	5,407	356,599	12,188,369	2,268,760,927	2,230,695,167	9,516,438		0		
石西地区	2,527	163,376	5,418,008	973,931,040	958,462,719	3,867,079		65,934		
小計	22,353	1,709,537	58,845,264	10,797,692,470	10,649,938,360	36,938,522	52,138,817	65,934	17,707,162	17,773,096
前年度	23,466	1,728,526	59,437,058	10,967,318,416	10,817,033,989	37,571,098	52,975,373	67,129	18,021,841	18,088,970

(半相殺方式)

石見	3	584	23,063	4,335,844	4,267,034	17,201		0		
小計	3	584	23,063	4,335,844	4,267,034	17,201	13,932	0	10,029	10,029
前年度	4	565	22,334	4,206,705	4,142,641	16,014	13,187	0	9,500	9,500

(全相殺方式)

島根県東部	174	36,648	1,549,394	147,443,780	145,735,296	427,119		0		
出雲広域	263	59,276	2,616,098	183,936,312	180,564,956	842,837		0		
石見	27	12,593	543,745	66,474,060	64,612,786	465,318		0		
石西地区	35	6,577	263,597	18,187,412	17,750,914	109,124		27,087		
小計	499	115,095	4,972,834	416,041,564	408,663,952	1,844,398	1,776,272	27,087	1,036,042	1,063,129
前年度	535	115,091	4,978,938	406,428,193	399,130,717	1,824,365	1,746,315	24,972	1,034,249	1,059,221

(品質方式)

石見	6	6,755	0	52,450,722	51,107,983	335,684		0		
小計	6	6,755	0	52,450,722	51,107,983	335,684	312,249	0	286,284	286,284
前年度	6	4,925	0	40,018,613	38,962,121	264,122	241,475	0	221,604	221,604

(総計)

合計	22,861	1,831,971	63,841,161	11,270,520,600	11,113,977,329	39,135,805	54,241,270	93,021	19,039,517	19,132,538
前年度	24,011	1,849,106	64,438,330	11,417,971,927	11,259,269,468	39,675,599	54,976,350	92,101	19,287,194	19,379,295

<引受の概要>

・水 稲

引受面積は昨年産より約172ha減少した(対前年比99.1%)。引受戸数は1,085戸の減少(対前年比95.3%)となった。減少の要因は、高齢化に伴う後継者不足による自然減及び営農組織等への集約・参加促進、また生産数量目標の減少によるものが推測される。一筆方式では主食用米で147ha、米粉用米で8ha、飼料用米で17ha減少している。飼料用米を除いた対統計作付面積引受率は98.2%である。全相殺方式では、主食用米で県東部2戸、出雲広域6戸、石見13戸、石西地区1戸の引受があり、県東部・出雲広域・石西地区ともに全量をJAに出荷している大型農家の引受が中心で、石見は検見実測全相の引受が主体となっている。主食用米の全相殺方式での加入率は戸数で0.1%、面積で2.1%(対前年105.2%)となった。前年と比較して戸数は変わらないが、面積が増加しているのは、営農組織等への集約・参加促進の増加によるものが推測される。

飼料用米の29年産作付面積は1,010ha(JA調べ)で前年産に比べて28haの減となった。一部法人が飼料用米から稲発酵粗飼料(ホールクロップサイレージ、WCS)への作付転換したことによる。飼料用米は、県飼料用米推進協議会の物流スキームにのった栽培農家が大半で、出荷数量が把握できることから、全相殺方式での加入が主となっている。一括管理方式実施地域も縮小したため、引受は減少した。全相殺方式では県東部172戸、出雲広域257戸、石見14戸、石西地区34戸の加入があり、飼料用米における全相殺方式での加入率は戸数で69.6%、面積で70.4%となった。前年と比較して戸数で36戸、面積で約18haの減少となっている。

28年度 麦（29年産）（一筆方式）

項目 組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	異常責任 保有保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
島根県東部	戸 6	a 967	kg 9,451	円 146,504	円 139,350	円 2,383		円 2,351		円 -
出雲広域	44	15,683	245,708	27,394,165	25,806,188	529,325		640		
石見	1	620	5,729	114,580	107,705	2,291				
石西地区	1	77	867	11,271	10,899	123		136		
小計	52	17,347	261,755	27,666,520	26,064,142	534,122	157,207	3,127	354,198	357,325
前年度	69	20,016	304,034	32,931,282	31,068,852	620,807	181,942	1,298	415,054	416,352

28年度 麦（29年産）（全相殺方式）

島根県東部	5	2,331	40,813	653,008	601,584	17,141		10,270		
出雲広域	53	42,186	1,008,046	141,091,996	132,945,461	2,715,511		416,934		
小計	58	44,516	1,048,859	141,745,004	133,547,045	2,732,652	1,444,165	427,204	1,947,339	2,374,543
前年度	40	40,191	959,837	128,891,530	121,578,232	2,437,765	1,294,995	391,924	1,724,783	2,116,707

28年度 麦（29年産）（総計）

合計	110	61,863	1,310,614	169,411,524	159,611,187	3,266,774	1,601,372	430,331	2,301,537	2,731,868
前年度	109	60,207	1,263,871	161,822,812	152,647,084	3,058,572	1,476,937	393,222	2,139,837	2,533,059

29年度 麦（30年産）（一筆方式）

項目 組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	異常責任 保有保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
島根県東部	戸 11	a 1,418	kg 17,921	円 394,569	円 375,038	円 6,510		円 6,382		円 -
出雲広域	33	13,852	228,996	24,906,217	23,445,705	486,836		651		
石見	1	304	2,533	53,193	50,001	1,063				
石西地区	2	124	1,325	18,697	17,915	259		241		
小計	47	15,698	250,775	25,372,676	23,888,659	494,668	150,861	7,274	327,205	334,479
前年度	52	17,347	261,755	27,666,520	26,064,142	534,122	157,207	3,127	354,198	357,325

29年度 麦（30年産）（全相殺方式）

島根県東部	4	2,719	42,186	717,162	660,685	18,825		11,280		
出雲広域	60	42,024	958,574	130,760,986	123,348,986	2,470,665		389,657		
小計	64	44,744	1,000,760	131,478,148	124,009,671	2,489,490	1,334,634	400,937	1,778,590	2,179,527
前年度	58	44,516	1,048,859	141,745,004	133,547,045	2,732,652	1,444,165	427,204	1,947,339	2,374,543

29年度 麦（30年産）（総計）

合計	111	60,441	1,251,535	156,850,824	147,898,330	2,984,158	1,485,495	408,211	2,105,795	2,514,006
前年度	110	61,863	1,310,614	169,411,524	159,611,187	3,266,774	1,601,372	430,331	2,301,537	2,731,868

<引受の概要>

・麦（平成30年産）

引受面積は対前年比97.7%となり14.2haの減少となった。一筆引受方式では7割補償41戸、5割補償6戸の引受、全相殺方式では9割補償58戸、8割補償3戸、7割補償3戸の引受である。経営所得安定対策に係る畑作物の直接支払交付金への加入申請者は小麦と裸麦で23戸となった。単位当たり共済金額の選択では、第1位選択68戸、第2位以下第9位までの選択が43戸となった。

(被 害)
水 稻 (29年産)
(一筆方式)

組合名	項目	被害組合員数	共済減収量	共済金	保険金	共済金／共済金額
		戸	kg	円	円	%
島 根 県 東 部		92	25,878	4,609,171	921,834	0.2
出 雲 広 域		180	56,337	10,562,276	2,112,455	0.2
石 見		254	92,935	17,333,400	3,466,680	0.8
石 西 地 区		68	24,982	4,234,116	846,823	0.4
小 計		594	200,132	36,738,963	7,347,792	0.3
前 年 度		670	233,554	43,251,723	8,661,056	0.4

(半相殺方式)

石 見		0	0	0	0	0.0
小 計		0	0	0	0	0.0
前 年 度		1	326	61,614	12,322	1.5

(全相殺方式)

島 根 県 東 部		4	14,423	1,899,596	1,145,200	1.3
出 雲 広 域		5	1,878	63,164	12,632	0.0
石 見		5	7,072	525,896	105,179	0.8
石 西 地 区		1	63	2,520	504	0.0
小 計		15	23,436	2,491,176	1,263,515	0.6
前 年 度		21	30,096	1,800,789	360,157	0.4

(品質方式)

石 見		2	17,446	1,302,616	260,523	2.5
小 計		2	17,446	1,302,616	260,523	2.5
前 年 度		1	3,709	95,428	19,085	0.2

(総 計)

合 計		611	241,014	40,532,755	8,871,830	0.4
前 年 度		693	267,685	45,209,554	9,052,620	0.4

<被害状況及び評価の概要>

・ 水 稻

イノシシを主体とする獣害(その他サル・ヌートリア等)は県下全域で発生した。被害面積では全体の59.1%、減収量では67.7%と大半を占めた。

9月の台風や前線による断続的な降雨により、県下全域で倒伏被害が発生したほか、一部地域では穂発芽や穂ずれ、塩害が発生した。石見では7月5日の豪雨による冠水・土砂流入が発生した。

5月と6月の降水量が少なかったことから、山間部を中心に移植不能耕地が発生した。移植後の水不足により、生育不良、玄米千粒量の低下による減収が発生した。

県下の山間部を中心にイモチ病や紋枯病、ごま葉枯病、もみ枯細菌病が発生した。特に雲南、石見管内で多く見られた。

スズメを主体とする鳥による食害が早稲品種で発生したほか、カラスによる食害も見られた。

品質方式では、川本町と邑南町で干害によってコシヒカリの収量が悪く支払対象となった。

麦 (29年産)

(一筆方式)

組合名	項目	被害組合員数	共済減収量	共済金	保険金	共済金／共済金額
		戸	kg	円	円	%
島根県東部		4	1,043	16,688	9,669	11.4
出雲広域		14	12,737	1,504,490	376,122	5.5
石見		1	1,025	20,500	13,625	17.9
石西地区		1	22	286	71	2.5
小計		20	14,827	1,541,964	399,487	5.6
前年度		28	29,324	3,426,448	1,580,102	10.4

(全相殺方式)

島根県東部		1	13,565	217,040	165,616	33.2
出雲広域		9	12,029	1,139,396	284,849	0.8
小計		10	25,594	1,356,436	450,465	1.0
前年度		23	95,913	10,558,154	3,500,723	8.2

(総計)

合計		30	40,421	2,898,400	849,952	1.7
前年度		51	125,237	13,984,602	5,080,825	8.6

<被害状況及び評価の概要>

・麦

11月(播種期)から2月初旬(幼穂形成期)にかけて断続的な降雨となり、土壌は湿潤状態が続いたことから、発芽不良、生育不良となった圃場が全域で見られた。

島根県東部(海士町)と出雲広域(雲南市)では発芽不能耕地を、斐川町では転作等耕地を確認した。

出雲市(平田)では小麦において3月より黒節病が発生した。節の部分が褐変し、節から上部の生育が劣った。

出雲市(高浜)では二条大麦の5月下旬の収穫期にカラスによる食害が発生した。

(支 払)

区 分	項 目	支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源				
				再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他
水	稲	H29. 12. 19 (H30. 2. 20)	円 8,871,830 (1,263,515)	円 0 (0)	円 8,871,830 (1,263,515)	円	円	円 0 (0)
	麦	H29. 9. 26 (H29. 9. 26)	円 849,952 (450,465)	円 0 (0)	円 849,952 (450,465)			円 0 (0)

() 内の数字は全相殺方式分で内数

(損害防止)

水稻被害防止対策として、水稻損害防止事業、発生予察事業、水稻土壌診断事業を実施した。

組合に総額1,142,027円を負担金として交付した。

項 目	損害防止事業負担金	備 考
水稻損害防止事業	円 1,083,043	総事業費：49,886,067円
発生予察事業	6,000	
水稻担い手等生産支援対策事業	0	
水稻土壌診断事業	52,984	薬剤等事業費：42,984円
計	1,142,027	

(2)家畜共済関係

(引 受)

区分	項目	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数	共済金額	保険金額	再保険金額	徴収保険料	組合等納入金	再保険料	交付金	手持保険料	技術料
					事業計画頭数									
		頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	円	円	円	円	円
乳用牛等	胎児	10,414	10,393	10,400	100.1	3,085,369	2,468,295,200	1,542,684,500					96,348,959	167,408,360
			9,300	9,320										
肉用牛等	胎児	30,100	27,938	28,921	103.5	10,623,665	8,498,932,000	5,311,832,500					90,859,661	217,915,580
			10,181	10,851										
一般馬		57	66	49	74.2	19,668	15,734,400	9,834,000					348,298	38,953
種豚		3,533	2,037	2,384	117.0	123,161	98,528,800	61,580,500					26,972	0
肉豚		33,619	20,630	22,729	110.2	163,649	130,919,200	81,824,500					6,823,170	0
乳用種雄牛		0	0	0	-	0	0	0						0
肉用種雄牛		15	9	15	166.7	5,911	4,728,800	2,955,500					85,525	22,843
種雄馬		4	0	3	-	1,007	805,600	503,500					25,635	9,066
計		77,742	80,554	84,672	105.1	14,022,430	11,217,944,000	7,011,215,000	81,892,856	11,218,678		123,844,042	194,518,220	385,394,802
前年度		74,699	80,131	80,950	101.0	11,842,279	9,473,823,200	5,921,139,500	67,222,828	17,120,706		141,419,248	191,521,370	365,856,153

(注)有資格頭数については、肉用牛等、乳用牛等の欄は胎児分は含まない。

< 引受の概要 >

評価額は家畜市場価格が上昇したため、昨年より全体に高くなった。

乳牛の雌等の廃業が島根県東部で1件、出雲広域で1件、石見で2件あったが、石見の大型牧場の増頭により、昨年度に比べ成乳牛は73頭増加した。しかし、子牛選択をしない農家の増加により、乳牛の雌等全体では、昨年度に比べ45頭の増加となった。肥育用牛の戸数は石見で2件、石西地区で1件増加し、昨年度に比べ325頭の増加となった。また、その他の肉用牛では、子牛市場価格の上昇と行政等による増頭対策で、多頭農家を中心に飼養意欲が向上し、昨年度に比べ成牛は400頭増加し、その他の肉用牛全体で950頭増加した。牛全体でみると引受頭数が増加するとともに、評価額の増高もあり、共済金額が21億9,800万円の増加となった。豚について、引受頭数は種豚で344頭増加、肉豚で2,310頭増加したが、昨年度に比べ評価額が低下したため共済金額で1,600万円の減少となった。

全畜種合計の共済金額は、昨年度に比べ21億8,000万円増の140億2,200万円となった。

技術料は乙の上乗せ分も合わせて、昨年度に比べ1,900万円増の3億8,500万円となった。

(事 故)

区 分	死 廃 事 故					病 傷 事 故		
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	共済金	支払保険金	件数	共済金	支払保険金
	頭	頭	頭	円	円	件	円	円
乳 用 牛 等	592	214	1,222	227,239,724	181,791,313	26,111	194,173,770	58,157,428
胎 児	416							
肉 用 牛 等	404	115	924	189,393,547	151,514,527	46,009	240,664,510	67,916,930
胎 児	405							
一 般 馬	3	0	3	866,100	692,880	9	55,830	17,384
種 豚	0	0	0	0	0	0	0	0
肉 豚	3,272	0	3,272	24,807,659	19,844,868	0	0	0
乳 用 種 種 雄 牛	0	0	0	0	0	0	0	0
肉 用 種 種 雄 牛	0	0	0	0	0	2	6,730	2,312
種 雄 馬	1	0	1	335,600	268,480	0	0	0
計	5,093	329	5,422	442,642,630	354,112,068	72,131	434,900,840	126,094,054
前 年 度	5,108	347	5,455	392,325,876	313,858,900	73,698	456,417,855	140,252,059

< 事故の概要 >

・死廃事故

乳牛の雌等は、夏季に暑熱の影響で死亡廃用件数が増加したが、冬季には落ち着き、昨年度に比べ死廃事故件数で151頭の減、支払保険金で1,266万円増加した。
 肉用牛は夏季の暑熱と冬季の寒冷の影響で死廃事故件数、支払保険金が昨年度に比べ、それぞれ94頭、3,400万円の増加となった。
 全畜種合計は昨年度に比べ死廃事故件数で33頭減少し、支払保険金で4,025万円増加した。

・病傷事故

乳牛の雌等は、夏季の暑熱の影響で病傷事故が増加したが、冬季には落ち着き、昨年度に比べ事故件数が2,310件減少し、支払保険金が972万円減少した。
 肉用牛の病傷事故件数は、夏季の暑熱と冬季の寒冷の影響で病傷事故件数は昨年度に比べ744件増加したが、支払保険金は441万円減少した。
 全畜種合計は昨年度に比べ病傷事故件数で1,567件減少し、支払保険金で1,415万円減少した。

(損害防止)

区分

実施種目		対象頭数又は回数	経費概算	摘要
特定損害防止		頭(回) 3,839	円 13,281,520	乳牛(周産期疾患・乳房炎・運動器疾患)、肉用牛(繁殖障害)子牛(寄生虫性腸炎)
一般損害 防 止	健康検査	222	319,100	血液検査による代謝プロファイルテスト
	予防衛生措置	43,082	40,193,810	肝蛭の駆虫、磁石の投与など
	飼養管理指導	5,493	6,193,219	ミネラル剤、ビタミン剤等の投与指示
	講習会等			
計		48,797	46,706,129	

〈損害防止の概要〉

家畜の事故防止を図るため血液検査や

細菌検査等の損害防止事業を実施した。

特損事業への国からの交付金は7,933千円

であった。

(診療所)

診療所名	獣医師数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
東 部	人 4(2)	頭 2,482	頭 3,804	件 3,568	件 1,232	頭(回) 6,135	頭 155	円 7,357,774	
雲 南	8(4)	14,780	16,967	8,243	2,451	13,386	362	13,182,400	
出 雲	9(3)	5,394	8,515	11,656	1,090	12,438	422	16,964,769	
石 見	11(4)	39,883	34,458	15,533	6,397	10,124	798	13,612,356	
石 西	11(9)	12,986	15,234	29,263	235	1,625	82	2,384,714	
東部(隠岐)	2(1)	3,364	5,694	2,700	1,558	5,089	291	6,485,636	
計	45(23)	78,889	84,672	70,963	12,963	48,797	2,110	59,987,649	

獣医師数は、嘱託含む()内は嘱託。

(3) 果樹共済関係 (ぶどう・かき・くり)

(引 受)

・半相殺減収総合一般方式(収穫共済)

共済目的の種類	年 産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	kg	円	円	円	円	円
ぶどう	29 年 産	1	延実 20 17	841.6	87,074	16,559,000	15,869,978	415,330	47,261	462,591
	30 年 産	1	延実 12 11	487.0	54,090	11,679,000	11,202,496	268,648	27,812	296,460
	増 減	0	延実 △ 8 △ 6	△ 354.6	△ 32,984	△ 4,880,000	△ 4,667,482	△ 146,682	△ 19,449	△ 166,131
かき	29 年 産	2	延実 13 13	598.0	23,113	3,117,000	2,989,729	75,060	5,176	80,236
	30 年 産	2	延実 13 13	593.0	24,923	3,688,000	3,537,531	89,356	5,515	94,871
	増 減	0	延実 0 0	△ 5.0	1,810	571,000	547,802	14,296	339	14,635

・半相殺減収総合短縮方式(収穫共済)

共済目的の種類	年 産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	kg	円	円	円	円	円
かき	29 年 産	1	延実 8 8	195.0	11,325	1,405,000	1,347,296	21,541	11,800	33,341
	30 年 産	1	延実 8 8	195.0	12,058	1,666,000	1,597,577	25,540	13,994	39,534
	増 減	0	延実 0 0	0.0	733	261,000	250,281	3,999	2,194	6,193

・全相殺減収総合方式(収穫共済)

共済目的の種類	年 産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	kg	円	円	円	円	円
かき	29 年 産	3	47	2,070.0	221,809	32,598,000	31,432,755	404,356	37,990	442,346
	30 年 産	3	43	2,047.9	229,478	37,564,000	36,212,761	464,153	43,438	507,591
	増 減	0	△ 4	△ 22.1	7,669	4,966,000	4,780,006	59,797	5,448	65,245
くり	29 年 産	1	16	898.5	5,884	1,809,000	1,720,050	68,944	21,342	90,286
	30 年 産	1	13	833.0	4,886	1,221,000	1,160,962	46,534	14,406	60,940
	増 減	0	△ 3	△ 65.5	△ 998	△ 588,000	△ 559,088	△ 22,410	△ 6,936	△ 29,346

・樹園地単位減収総合一般方式（収穫共済）

共済目的の種類	年産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	kg	円	円	円	円	円
ぶどう	29年産	3	延実 288 288	8,438.5	870,801	414,754,000	399,780,198	1,783,996	3,113,142	4,897,138
	30年産	3	延実 269 266	7,912.0	764,647	359,952,000	346,947,864	1,593,481	2,680,605	4,274,086
	増減	0	延実 △19 △22	△526.5	△106,154	△54,802,000	△52,832,334	△190,515	△432,537	△623,052
かき	29年産	2	延実 2 2	86.4	5,397	682,000	655,599	6,340	5,919	12,259
	30年産	2	延実 11 11	423.7	17,896	2,514,000	2,415,882	26,567	25,089	51,656
	増減	0	延実 9 9	337.3	12,499	1,832,000	1,760,283	20,227	19,170	39,397

・樹園地単位減収総合短縮方式（収穫共済）

共済目的の種類	年産	組合数	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	kg	円	円	円	円	円
かき	29年産	1	延実 17 17	376.6	22,105	2,653,000	2,552,635	22,364	18,306	40,670
	30年産	1	延実 15 15	331.7	20,328	2,716,000	2,613,252	22,895	18,741	41,636
	増減	0	延実 △2 △2	△44.9	△1,777	63,000	60,617	531	435	966

・樹体共済

共済目的の種類	年度	組合数	組合員数	引受面積	共済価額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料
			戸	a	円	円	円	円	円	円
ぶどう	28年度	1	13	954.5	285,921,443	114,376,000	110,635,904	168,132	240,471	408,603
	29年度	1	15	1,224.5	427,842,037	171,144,000	165,547,591	251,581	359,403	610,984
	増減	0	2	270.0	141,920,594	56,768,000	54,911,687	83,449	118,932	202,381

<引受の概要>

・ぶどう

ぶどう収穫共済の引受は、生産農家の高齢化に伴う廃園等により、戸数は前年比90.8%（28戸減）となり、面積は90.5%（881.1a減）となった。

・かき

戸数は前年比103.4%（3戸増）、面積は前年比108.0%（265.3a増）となった。

・くり

戸数は前年比81.3%（3戸減）、面積は前年比92.7%（65.5a減）となった。

(被 害)

果樹共済再保険区分	項目		被害組合数	被害組合員数	認定減収量又は損害の額	共 済 金	保 険 金	共済金／共済金額
				戸	kg(円)	円	円	%
ぶ ど う (収穫共済・半相殺減収総合一般方式)			1	(延) 1 (実) 1	3,738	138,490	96,943	0.8
	前年度		1	(実) 1	4,615	207,870	145,509	1.0
ぶ ど う (収穫共済・樹園地単位減収総合一般方式)			3	(延) 11 (実) 11	8,641	2,441,092	1,708,764	0.6
	前年度		2	(実) 21	11,777	3,672,520	2,570,764	0.8
ぶ ど う (樹体共済)			1	(延) 10 (実) 10	7,398,664	2,959,678	2,562,072	2.6
	前年度		1	(実) 7	4,510,680	1,804,327	1,550,289	1.9
か き (半相殺減収総合一般方式)			0	0	0	0	0	0.0
	前年度		2	2	1,791	127,340	89,138	3.5
か き (半相殺減収総合短縮方式)			0	0	0	0	0	0.0
	前年度		1	2	645	70,280	49,196	4.1
か き (樹園地減収総合一般方式)			0	0	0	0	0	0.0
	前年度		0	0	0	0	0	0.0
か き (樹園地減収総合短縮方式)			1	1	567	20,550	14,385	0.8
	前年度		0	0	0	0	0	0.0
か き (全相殺減収総合方式)			0	0	0	0	0	0.0
	前年度		2	15	30,401	3,594,750	3,201,587	8.8
く り (全相殺減収総合方式)			1	1	49	3,840	2,688	0.2
	前年度		1	3	617	158,430	110,901	7.9
合 計			7	24	7,411,659	5,563,650	4,384,852	
	前年度		10	51	4,560,526	9,635,517	7,717,384	

<果樹被害状況及び評価の概要>

- ぶどう
[収穫共済]
マスカットベリーA（2類）は7月下旬からの高温により着色不良が発生した。
シャインマスカット（4類）とデラウェア（4類）では、1月23日からの積雪（30～50センチ）によりハウスが倒壊し倒木被害が発生した。また、紋羽病が発生した。
巨峰（4類）は2月9日の強風（大田：最大瞬間風速21.0m/s）によりハウスが半壊し倒木の被害が発生した。
デラウェア（4類）で花振るいの被害。ピオーネ（4類）は灰色かび病。シャインマスカット（4類）にスリップスの被害が発生した。
[樹体共済]
紋羽病による樹体の枯死が発生した。
- かき
9月中旬からの長雨多雨で落葉病が発生した。
- くり
9月上旬からサルによる食害や枝の折損被害が発生した。

(支 払)

果樹共済再保険区分 項目	支払月日	実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金
			再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	保 険 金
ぶ ぶ ぶ (収穫共済・半相殺減収総合一般方式)	H29.12.19	円 96,943	円	円 96,943	円	円	円	% 100.0
ぶ ぶ ぶ (収穫共済・樹園地単位減収総合一般方式)	H29.12.19	1,708,764		1,708,764				100.0
ぶ ぶ ぶ (樹体共済)	H29.8.17	2,562,072	1,634,326	408,603			519,143	100.0
か き (半相殺減収総合一般方式)								
か き (半相殺減収総合短縮方式)								
か き (樹園地単位減収総合一般方式)								
か き (樹園地単位減収総合短縮方式)	H30.2.20	14,385		14,385				100.0
か き (全相殺減収総合方式)								
く り (全相殺減収総合方式)	H30.2.20	2,688		2,688				100.0
合 計		4,384,852	1,634,326	2,231,383	0	0	519,143	

(損害防止)

果樹(ぶどう)土壌診断事業を実施した。

項 目	内 容
果樹(ぶどう)土壌診断事業	総事業費88,214円

(4)畑作物共済関係

(引 受)

年 度	畑作物共済再保険区分		組 合 数	組 合 員 数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交 付 金 (△再保険料)	手持保険料
	区 分	共 済 目 的									
29年度	第一区分	大豆一筆	4	45	4,689.7	36,157	6,594,216		183,394		
		大豆半相殺	3	6	1,132.2	9,827	1,492,234		37,666		
		小 計	7	51	5,821.9	45,984	8,086,450	7,277,804	221,060	243,610	464,670
	第二区分	大豆全相殺	4	57	44,515.6	624,549	123,054,342	110,748,907	4,518,064	1,418,326	5,936,390
		大 豆 計	11	108	50,337.5	670,533	131,140,792	118,026,711	4,739,124	1,661,936	6,401,060
	第三区分	そば全相殺	2	101	28,125.5	75,849	26,945,418	24,250,876	1,735,314	△ 314,265	1,421,049
	計	延	13	209							
実	4	200	78,463.0	746,382	158,086,210	142,277,587	6,474,438	1,347,671	7,822,109		
28年度	第一区分	大豆一筆	3	34	3,969.9	31,559	4,673,960		128,573		
		大豆半相殺	3	5	1,066.8	9,289	1,226,816		30,502		
		小 計	6	39	5,036.7	40,848	5,900,776	5,310,697	159,075	174,258	333,333
	第二区分	大豆全相殺	4	54	47,230.0	663,158	128,808,663	115,927,796	4,716,570	1,464,599	6,181,169
		大 豆 計	10	93	52,266.7	704,006	134,709,439	121,238,493	4,875,645	1,638,857	6,514,502
	第三区分	そば全相殺	2	88	23,676.6	68,744	24,880,060	22,392,054	1,602,303	△ 290,172	1,312,131
	計	延	12	181							
実	4	167	75,943.3	772,750	159,589,499	143,630,547	6,477,948	1,348,685	7,826,633		

<引受の概要>

大 豆

大豆の作付面積は、前年産より50ha減少の823haとなり、同様に引受面積も約20ha減少（対前年比96.3%）した。しかし、面積引受率は、61.1%と前年産より1.1%向上した。また、各引受方式の占有率（引受面積）は、一筆方式が9.3%、半相殺方式が2.2%、全相殺方式が88.5%の結果であった。

そ ば

そばの作付面積は、前年産より18ha増の698haとなり、引受面積も約44ha増加（対前年比118.8%）した。また、面積引受率は、40.3%であった。

(被害)

年 度	畑作物共済再保険区分		被害組合数	被害組合員数	共済減収量	共済金	保険金	共済金／共済金額
	区 分	共 済 目 的						
29年度	第一区分	大豆一筆	3	戸 10	kg 661	円 160,405	円 144,363	% 2.4
		大豆半相殺	1	2	166	167,660	150,894	11.2
		小 計	4	12	827	328,065	295,257	4.1
	第二区分	大豆全相殺	3	12	38,754	5,685,618	5,117,055	4.6
	大豆 計		7	24	39,581	6,013,683	5,412,312	4.6
	第三区分	そば全相殺	2	36	7,126	2,499,774	2,249,796	9.3
	計		延 9 実 4	延 60 実 59	46,707	8,513,457	7,662,108	5.4
28年度	第一区分	大豆一筆	3	13	2,021	288,128	259,314	6.2
		大豆半相殺	1	1	78	24,960	22,464	2.0
		小 計	4	14	2,099	313,088	281,778	5.3
	第二区分	大豆全相殺	4	34	77,955	14,683,033	13,214,728	11.4
	大豆 計		8	48	80,054	14,996,121	13,496,506	11.1
	第三区分	そば全相殺	2	70	22,906	8,255,032	7,429,528	33.2
	計		延 10 実 4	延 118 実 109	102,960	23,251,153	20,926,034	14.6

＜被害状況及び評価の概要＞

大豆

主要災害は、9月中旬に接近した台風18号の風雨による葉の損傷で、これにより葉からの養分転流が阻害され一部で大きな減収となった。この他は、播種、発芽後の6月下旬から7月中旬の降雨による発芽、生育不良といった土壌湿潤害やイノシシ等による株の踏込み等の獣害が一部で発生した。結果として、再保険第1区分並びに第2区分も、通常災害となった。

そば

主要災害は、10月22日に接近した台風21号の風雨により一部で株の倒伏並びに子実の脱粒被害が発生し、大きな減収となった。土壌湿潤害については、播種時期を通して比較的降水量が少なめであったことから平年に比べ軽微なものとなったが、最終的に金額被害率が9.3%と通常標準被害率を超え、5年連続の異常災害となった。

(支払)

畑作物共済再保険区分 区 分 共 済 目 的		支払月日	実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 保険金
				再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
第一区分	大豆 半相殺・一筆	H30. 3. 30	円 295, 257	円	円 295, 257	円	円	円	% 100. 0
第二区分	H28年産 全相殺大豆	H29. 4. 25	13, 214, 728	5, 403, 281	6, 181, 169	1, 583, 241	47, 037		100. 0
	H29年産 全相殺大豆	H30. 3. 30	5, 117, 055		5, 117, 055				100. 0
第三区分	そば 全相殺	H30. 3. 27	2, 249, 796	616, 777	1, 421, 049			211, 970	100. 0

<損害防止>

大豆の損害防止対策として、畑作物共済（大豆）損害防止事業を実施した。
組合が実施した有害獣の侵入防止機設置・捕獲助成に対し、53千円を交付した。

項目 事業名	損害防止事業負担金 円	備 考
大豆損害防止事業	53, 364	総事業費 : 2, 278, 897円

(5)園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合員数		引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金 (△再保険料)	手持保険料	責任準備金
		組合数	延戸数									
		戸	戸	棟	a	千円	千円	千円	円	円	円	円
ガラス室Ⅱ類	2	9	9	25	106	106,764	78,216	70,394	15,782	14,052		
プラスチックハウスⅡ類	4	1,799	1,416	4,582	19,609	3,552,759	2,507,733	2,256,960	17,658,258	8,363,255		
プラスチックハウスⅢ類	3	18	17	29	340	109,554	66,762	60,086	107,990	110,853		
プラスチックハウスⅣ類甲	4	16	16	22	152	77,282	60,001	54,001	221,410	239,310		
プラスチックハウスⅣ類乙	4	20	20	35	476	237,336	184,716	166,244	318,649	260,516		
プラスチックハウスⅤ類	3	17	16	34	114	130,315	99,413	89,472	157,170	142,358		
プラスチックハウスⅥ類	4	28	27	41	354	38,824	30,232	27,209	197,205	113,493		
プラスチックハウスⅦ類	2	16	14	40	1,296	58,584	44,476	40,028	68,243	72,589		
計	4	1,923	1,535	4,808	22,447	4,311,418	3,071,549	2,764,394	18,744,707	9,316,426	28,061,133	15,314,456
前年度	4	1,942	1,527	4,905	22,603	4,404,217	3,178,246	2,860,421	19,771,432	9,609,625	29,381,057	15,385,249

<施設区分概要>項目

(実266)

引受は前年度対比で戸数99.0%、棟数98.0%、面積99.3%に減少した。減少の主な原因は高齢化、経済的理由、規模縮小等である。

(被 害)

施設区分	項目	組合数	組合員数	棟数	附帯施設	損害額	共済金	保険金	共済金 共済金額
			戸	棟	基	円	円	円	%
ガラス室Ⅱ類									-
プラスチックハウスⅡ類		4	137	158	1	29,477,636	21,557,435	19,401,633	0.86
プラスチックハウスⅢ類									-
プラスチックハウスⅣ類甲									-
プラスチックハウスⅣ類乙		2	3	3	1	797,070	637,655	573,888	0.35
プラスチックハウスⅤ類		1	2	2	0	73,140	58,512	52,660	0.06
プラスチックハウスⅥ類		2	2	3	0	1,370,240	783,461	705,114	2.59
プラスチックハウスⅦ類		1	2	2	0	76,510	61,161	55,044	0.14
計		4	146	168	2	31,794,596	23,098,224	20,788,339	0.75
前 年 度		4	289	384	5	38,375,967	29,723,052	26,750,588	0.94

<被害状況及び評価の概要>

12月は11日の低気圧(最大瞬間風速24.4m/s:出雲)等で、16戸20棟、本体・被覆材の被害等が発生し、共済金約118万円。

1月は9日～12日の降雪(赤名:最深積雪102cm)等で、29戸37棟、本体・被覆材の被害等が発生し、共済金約650万円。

2月は6日～13日の降雪(赤名:最深積雪123cm)等で、51戸58棟に本体・被覆材の被害等が発生し、共済金約1272万円。

内作物の被害はメロンの病虫害事故(つる枯病等)が主な被害であった。

(平成29年度の共済金の内訳)

特定園芸施設	21,957,724円	風 害	4,277,553円
附帯施設	516,260円	雪 害	17,773,527円
施設内農作物	604,240円	風雪害	0円
撤去費用	0円	病虫害	536,270円
本体復旧費用	20,000円	その他	510,874円
附帯復旧費用	0円	その他(カラス等)	

(支 払)

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金
	再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	保 険 金
円	円	円	円	円	円	%
20,788,339	9,039,311	11,749,028				100.0

(損害防止)

園芸施設共済損害防止対策事業として補修テープを配布した。

事業名	項目	損害防止事業負担金	備 考
園芸施設共済損害防止対策事業		円	
		499,550	

(6)任意共済関係

1 建物共済 (引 受)

(1)農家建物

項目 組合名	加入棟数	保険金額	保険料			1棟当たり平均 保険金額	再共済掛金	再共済 手数料収入
			純保険料	賦課金	合計			
島根県東部	棟 22,146	千円 291,471,940	円 141,722,571	円 10,308,221	円 152,030,792	千円 13,161		
出雲広域	48,207	607,612,230	319,487,528	22,681,758	342,169,286	12,604		
石見	18,952	236,528,210	125,123,039	8,886,855	134,009,894	12,480		
石西地区	9,242	89,168,420	67,142,151	3,438,638	70,580,789	9,648		
計	98,547	1,224,780,800	653,475,289	45,315,472	698,790,761	12,428	342,659,261	125,130,498
前年度	100,897	1,246,594,030	654,811,644	46,790,697	701,602,341	12,355	340,308,095	128,517,020

総共済掛金額 1,118,860,688円、再共済割合 30%、再共済手数料割合 火災 40.5% 総合 10.5%

<引受の概要>

前年度実績に対して、棟数は2,350棟減、共済金額は218億円減となった。28年度目標に対する達成率は98.9%であった。

共済種類別にみると、火災共済では231億円減（前年比98.1%）となったのに対し、総合共済は13億円増（同103.4%）の引受となっている。

(2)団体建物

該当なし

(事 故)

(1)農家建物

項目 組合名	事故棟数	加入総保険金額 (イ) 千円	支払保険金(ロ) 円			再共済金 円	(ロ) 被害率 (イ) %	摘 要
			火 災	風水害等	合 計			
島 根 県 東 部	棟 67	291,471,940	円 57,380,730	円 10,332,974	円 67,713,704	円 20,314,082	0.023	
出 雲 広 域	352	607,612,230	97,103,144	33,093,784	130,196,928	39,058,913	0.021	
石 見	104	236,528,210	24,524,339	16,063,943	40,588,282	12,176,437	0.017	
石 西 地 区	84	89,168,420	0	9,407,417	9,407,417	2,822,192	0.011	
計	607	1,224,780,800	179,008,213	68,898,118	247,906,331	74,371,624	0.020	
前 年 度	592	1,246,594,030	486,585,127	53,171,065	539,756,192	161,926,602	0.043	

<事故の概要>

前年度より落雷事故は増加したが、火災事故が少なく、全焼棟数も前年度の30棟から8棟に減少したこと、また、自然災害も減少したため、支払保険金は前年度比46%となった。

事故原因でみると、落雷が314棟で最も多く、次いで地震を除く自然災害170棟、落雷を除く拡張担保事故94棟、火災事故27棟、地震2棟となっている。

(2)団体建物

該当なし

(3) 建物共済原因別事故発生状況

イ 農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総保険金額 (イ)	支払保険金 (ロ)	再共済金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	摘 要
	棟	千円	円	円	%	
失 火	22	/	175,129,844	52,538,944	/	
類 焼	5		3,878,369	1,163,509		
落 雷	314		19,781,564	5,934,320		
拡 張 担 保	94		15,064,708	4,519,374		
自 然 災 害	172		34,051,846	10,215,477		
計	607	1,224,780,800	247,906,331	74,371,624	0.020	
前 年 度	592	1,246,594,030	539,756,192	161,926,602	0.043	

ロ 団体建物

該当なし

2 農機具損害共済

(引 受)

項 目 組合名	加入台数	保険金額	保険料			1台あたり平均 保険金額	摘 要
			純保険料	賦 課 金	合 計		
島 根 県 東 部	1,276	2,124,300	10,938,949	436,079	11,375,028	1,665	
出 雲 広 域	3,524	6,777,950	31,135,523	1,269,053	32,404,576	1,923	
石 見	3,204	5,043,480	27,181,732	1,057,337	28,239,069	1,574	
石 西 地 区	1,771	2,606,510	12,662,995	501,535	13,164,530	1,472	
計	9,775	16,552,240	81,919,199	3,264,004	85,183,203	1,693	
前 年 度	9,641	15,746,630	77,018,842	3,087,979	80,106,821	1,633	

<引受の概要>

前年度に比べて、台数で134台、共済金額で8億5百万円増加した。引受台数を共済種類別にみると、火災共済が2,628台、総合共済が7,147台の加入。

物件別で見れば、前年度より普通物件が157台増の9,405台、農用トラックが4台減の157台、畜産用機具が19台減の213台の加入となっている。また、加入全体の中には、JA全農との提携事業によるものが、178台、7,006万円含まれている。

(事 故)

項目 組合名	事故台数	加入総保険金額 (イ) 千円	支払保険金 (ロ)			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$ %	摘 要
			火 災 円	風水害等 円	合 計 円		
島根県東部	38	2,124,300	0	5,329,110	5,329,110	0.251	
出雲広域	108	6,777,950	0	26,927,388	26,927,388	0.397	
石 見	120	5,043,480	0	30,604,687	30,604,687	0.607	
石西地区	58	2,606,510	0	10,683,386	10,683,386	0.410	
計	324	16,552,240	0	73,544,571	73,544,571	0.444	
前 年 度	353	15,746,630	3,966,603	71,809,373	75,775,976	0.481	

〈事故の概要〉

事故台数は前年度比91.8%と減少し、支払保険金も前年度比97.1%と減少した。

機種では、コンバインとトラクタの2機種の事故が、全体の約7割にあたる226台で発生し、合わせて4,612万円の保険金を支払った。

その他では、田植機43台、畜産用機種14台、農用トラック10台などの事故が発生している。

(7)農機具更新共済関係

(引 受)

項目 組合名	加入台数	保険金額	減価保険金額	保 険 料			
				純保険料		賦課金	合 計
				損害部分	減価部分		
		千円	千円	円	円	円	円
島根県東部	31	25,510	25,510	138,766	3,396,480	19,536	3,554,782
出雲広域	79	158,810	147,440	683,207	18,396,919	106,785	19,186,911
石見	15	18,680	18,680	130,253	2,661,703	14,026	2,805,982
石西地区	20	29,450	28,420	90,296	3,457,721	19,120	3,567,137
計	145	232,450	220,050	1,042,522	27,912,823	159,467	29,114,812
前年度	156	234,400	226,920	1,249,418	32,674,469	190,372	34,114,259

<引受の概要>

加入台数145台の内訳は、新規引受10台、継続引受135台となっている。前年度に比べて13台、265万円の減少となった。
 共済種類別でみると、火災共済が29台、総合共済が116台。
 物件別にみると、普通物件139台、農用トラック5台、畜産用機具1台の加入となっている。

(事 故)

項目 組合名	事 故 台 数	期 間 満 了 台 数	加入総保険金額 (イ)	支 払 保 険 金			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$
				火災・風水害等 (ロ)	期間満了によるもの	合 計	
	台	台	千円	円	円	円	%
島 根 県 東 部	0	5	25,510	0	3,440,000	3,440,000	0.000
出 雲 広 域	7	9	158,810	265,291	11,000,000	11,265,291	0.167
石 見	0	2	18,680	0	1,920,000	1,920,000	0.000
石 西 地 区	0	4	29,450	0	7,000,000	7,000,000	0.000
計	7	20	232,450	265,291	23,360,000	23,625,291	0.114
前 年 度	7	35	234,400	1,102,576	39,030,000	40,132,576	0.470

〈事故の概要〉

事故台数は前年度と変わらないが、支払保険金は前年度比24%となった。
機種では、トラクタ4台、コンバイン2台、貨物自動車1台となっている。
事故原因は、衝突4台、接触2台、異物の巻き込みが1台であった。

(解 約)

組合名 / 項目	解約台数	解約還付金
島根県東部	0 台	0 円
出雲広域	1	155,776
石見	0	0
石西地区	2	679,463
計	3	835,239
前年度	4	6,028,981